

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このこのリーフ米子			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年3月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2026年2月27日 ～ 2026年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童が楽しみに通える活動が提供できている。	・土曜日、長期休業中は、外出活動を計画している。 ・季節の行事や、自立につながる活動（買い物、調理実習、電車での外出）も取り入れている。今後も児童の安全に配慮し、楽しめる活動を充実させていきたい。	・天候によって外出予定が変更になることもあるため、天候に左右されない外出先の候補も増やしていきたい。 ・屋内で楽しめる活動についても増やしていきたい。
2	・外部講師による活動を提供している。 月曜日：図工、音楽、英語 水曜日：体操教室 木曜日：書道	・活動内容を毎月発行するお便りで保護者へお知らせし、活動の様子を共有できるようにしている。	・児童、保護者の意向も伺いながら、児童の成長につながる活動を充実させていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間で必要な情報を共有する機会を十分設けられていない。	・職員研修は年度初めと職員の採用があったタイミングで開催しているが、日程調整が難しく、年度途中の開催ができないこともある。 ・職員間で支援の打合せの時間が十分とれていない。	・毎日の支援開始前に、短時間でも打合せの時間をとる。出勤時間の面で打ち合わせに参加が難しい職員にも送迎計画がわかりやすいよう、ホワイトボードで共有する。 ・支援会議の内容や児童、保護者支援について情報を共有する時間を設ける（月1回以上）。
2	保護者への支援体制に課題がある。	・保護者会やペアレントトレーニングを開催する日程や人材の確保が難しい。	・ペアレントトレーニング実施のために必要な知識やスキルを職員が学べる機会を設ける。 （研修会に参加しやすいシフト調整、研修費用を事業所が負担する）
3			